

自ら考え よく学ぶ 心豊かでたくましい子



輝け三井っ子

輪島市立三井小学校
学校だより 第8号
令和5年10月23日
文責:角間

「挑戦し、感動いっぱい」の三井小学校



錦秋を味わい楽しむ!
見て、触れて、感じて学びを深める!!

学ぶ楽しさを求めて 学習の秋



さまざまな行事や活動がこの秋行われていますが、学習にもしっかり取り組んでいます。9月12日(火)、指導主事をお招きし、1・2年生は算数の研究授業を行いました。1年生は「10といくつ」の学習で、「10より大きい数、 $12+3$ 、 $15-3$ の計算の仕方」を考えました。1年生はブロックを動かして数をたすこと、ひくことを考え、計算の答えを見つけました。2年生は「ひき算」の学習で、「 $102-65$ の筆算の仕方」を考えました。2年生は、十の位から繰り下げられないことに戸惑い、デジタル教科書を使って、画面上で、100を、10が10枚に置き換えたり、10を、1が10枚に置き換えたりと操作する中で、「あっ、わかった。」と言って、繰り下がりの筆算の仕方を理解しました。分かると表情が明るくなり、自信を持って考えの根拠を明らかに示して、説明することができました。



また、10月5日(木)は、指導主事訪問があり、たくさんの先生方がいらっしやいました。1・2年生は体育の授業「とび方を工夫してとんで遊ぼう」を行いました。2人で元気に楽しそうに活動する姿にこちらも笑顔になりました。3年生は社会の学習「スーパーマーケットにはなぜいろいろな品物がそろっているのだろう」で、スーパーマーケットの見学を通して学んだことを基に、クロームブックで品物の産地を調べて、分かったことを発表しました。4年生は社会の学習「自然災害から命を守る」で、実際に災害に遭ったときにどのような情報が役立つかを考えました。ハザードマップを使って危険区域なども調べました。



5・6年生は、算数の研究授業を行いました。6年生は「複合図形の体積も底辺×高さで求めることができるのか」について考えました。6年生は自分たちで考えを発表し、課題を考えて進めるりりしい姿がありました。5年生は「4mは3mの何倍にあたるか」の分数倍の学習について考えました。数直線をもとに何倍になるかを考えるのに戸惑いましたが、わり算で倍を求めても割り切れない。ことから、わかった。小数で表せないから分数で表すのかと理解しました。分かったときの児童は、目が輝き主体的に、自信を持って自分の考えを発言し、進んで書く姿が見られました。

「学ぶ」ことは、楽しいものなのです。しっかり考えて考えを深め、分かる「楽しい学び」ができるよう、今後も授業を追究していきたいと思ひます。

校長 角間 久美子

脱穀作業 一粒一粒を大切に!!最後まで!



9月15日(金)に行った稲刈りから、予定した日が雨になり、脱穀作業の日がなかなか思うようにはとれませんでした。予定した日に合わせて脱穀機を運動場に出しましたが、雨が降り、脱穀機はブルーシートをかけられたままポツンと寂しく雨の中に置かれました。「からっと晴れた日が続かないとだめや。稲刈りのときは違う。」と中谷さんのご指導を受け、10月3日(火)ようやく稲を稲架から外し、脱穀作業を行うことができました。



当日は、中谷さん、小山館長さんを始め、老人会の皆さん方にご指導ご協力をいただきながら、稲の脱穀が始まり、児童たちは稲架にかかっている稲を競うかのようにてきぱき外し、一束ずつ脱穀機の中に入れていきました。最初はこわごわ作業をしていましたが、慣れてくるとスムーズに作業が進んでいきました。袋に脱穀されたモミがさらさらと流れるようになっていく様子や、モミがきれいに外されワラになる様子は、本当に見ているだけでも飽きないくらいに心が躍ります。児童は疲れてきたころ、鈴木さん(ヤギジイと児童は言っています)が児童たちを笑わせるなどしてくださり、最後まで頑張ることができました。最後の束を脱穀機に入れた後、足元のシートには、モミが散らばっていたのですが、5・6年生が一生懸命掃き集めて、脱穀機に入れました。また、脱穀機から、ワラくずも出るのですが、最後まで根気よく集めて袋に詰める姿にも感心しました。このように作業する中で、最後までやり通す勤勉さや、みんなと力を合わせ助け合う心などが育まれ、一年ずつ伸びゆく児童の姿を頼もしく思います。このように大切な活動が地域の方々のサポートにより、脈々と受け継がれていることに心より感謝いたします。



コシヒカリ美登里 真っ自分でつやつやな新米! 汗と努力の結晶!!



10月10日(火)、中谷さんたちが、脱穀したお米を精米して学校に届けてくださいました。昨年は8袋を超えるお米(247キログラム)に、「今年は豊作です。」と報告してくださったのですが、今年は9袋を超えるお米(274キログラム)がありました。「昨年を超える大豊作に喜



びもひとしおです。」児童たちは自分たちで苗を植えて収穫したお米を大切に持ち帰りました。販売用の袋のラベルは、1・2年生が休み時間も使って貼ってくれました。みんなの力でお米をお届けできました。保護者の皆さん、職員の皆さんのご協力で、全て完売できました。ありがとうございました。新米はつやつやかで甘みがあり、ふっくらモチモチとして格別のおいしさです。待ちに待ったお米を食べて、益々力強いたくましい三井っ子になりそうです。お世話いただきました、中谷さん、小山公民館長さん、そして老人会の皆様、本当にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。



11月 学校行事等予定

日	曜	内容等	日	曜	内容等
1	水	学校公開(午前中) 給食試食会 授業参観(5限目) 非行被害防止講座 人権教室 教育講話会(18:00) 安全点検日	16	木	SC 来校
2	木	SC 来校	17	金	
3	金	文化の日 三井の里山文化展(4日まで) 児童参加:権現太鼓・大正琴9時~	18	土	輪島市 PTA 研究大会(文化会館13:30) 山本さん、表さん、長井先生、米田先生
4	土		19	日	
5	日	奥能登タウンミーティング(行セ)13:30 PTA 代表 正武田さん	20	月	ノーメディアデー
6	月	生活リズムアップ週間(~12日まで)	21	火	心の授業5・6年生「アンガーマネジメント」 ALT 来校
7	火	読み聞かせ山下さん ALT 来校	22	水	収穫祭 下校16:00 集金振替日
8	水		23	木	勤労感謝の日 いしかわ学校読書の日
9	木	SC 来校	24	金	
10	金	ノーメディアデー	25	土	県 PTA 研究大会(県地場産)山本さん
11	土		26	日	
12	日	PTA地区別研究大会(ラポルトすず13:00) PTA 副会長山本さん、角間校長	27	月	
13	月		28	火	全校漢字テスト ALT 来校 薬物乱用防止教室5・6年
14	火	ALT来校	29	水	三校合同ミニバスケットボール大会5・6年
15	水	研修のため全児童 12:52下校	30	木	児童委員会 ノーメディアデー SC 来校

3校合同修学旅行 1泊2日!!思い出の時間を刻む!



10月12日、13日の1泊2日、5・6年生は、3校合同(三井小、河原田小、鶴巣小)で金沢へ修学旅行に行きました。1日目は、いしかわ動物園で仲間と回り、さまざまな動物を見て楽しみました。次のサイエンスヒルズ小松では、貝田先生の体験型科学実験を通して科学の不思議やおもしろさを体験しました。宿泊施設のキゴ山では、班で「きもだめし」が行われ、楽しく活動できました。2日目は、兼六園・

金沢城址公園を散策し、加賀友禅体験「茜や」で、一人一人が手作り巾着を作りました。老舗「大友楼」で昼食をとり、立派な建築の県立図書館でたくさんの本とふれあいました。天気もよく秋を満喫できました。



3校合同秋のバス遠足 秋の行楽! 興味津々!!

10月13日は、楽しみにしていたバス遠足。1年から4年生の児童は、3校合同(三井小、河原田小、鶴巣小)で門前方面に行きました。総持寺では座禅体験を行った後、総持寺の裏山にある三十三観音をスタンプラリーをして廻りました。昼食場所は門前児童館です。お弁当を嬉しく食べた後、様々な遊具で、他校の友だちとも楽しく遊びました。午後は北前船資料館と天領黒島角海家を見学しました。最後は琴ヶ浜へ行き、きれいな石やシーグラスを見つけて拾ったり、石を海に投げて遊んだりして、秋を楽しみました。



PTA 窓ふき作業・親子行事(ボッチャ) みんなできれいに!楽しく!!



10月21日(土) PTA 窓ふき作業・親子行事が行われ、保護者・児童・職員が集合し、朝8時から、校舎の窓ふき作業に取り掛かりました。保護者の皆さんの中には、ミニ脚立やワイパー、雑巾を持参の方が何人もいて、高い所も拭いてくださり、大変ありがたく思いました。児童も教室や廊下、玄関の窓を念入りに磨きました。きれいな窓になりました。ありがとうございました。



親子行事は、昨年度と同様で、「ボッチャ」を輪島市スポーツ推進委員の方々にご指導いただき、6チームに分けてリーグ戦を行いました。ジャックボール(目標ボール)に近づけたチームの勝ちになるので、投げ方・転がし方を工夫したり、相手のボールをあてて遠くに離れたりとさまざまな方法があり、最後の一投まで勝敗がわからないこともあるため、ハラハラドキドキしながらゲームの楽しさを体験しました。



サツマイモ収穫作業 秋晴れのうれしい収穫!!

10月2日(月)、爽やかな秋晴れの下、中谷さん、小山公民館長さん、老人会の方々に、お世話いただきながら、全児童がサツマイモ掘りを行いました。



中谷さんが、サツマイモの長いツルを切って、掘りやすいように準備してくださっていました。児童はツルの根元をシャベルや手で丁寧に土をよけ、サツマイモが折れないようにして、最後に引っ張りました。サツマイモを掘る児童の嬉しそうな顔と言ったらありません。「こんなに大きい」と見せ合ったり、「こんなにいっぱい付いている。」「見て、見て。」と歓声を上げたりして、収穫の喜びを味わうことができました。今年もサツマイモも豊作で沢山取れました。サツマイモは重いので、小山館長さんが車で運んでくださいました。16日は、しっかり乾いたサツマイモを持ち帰りました。お世話いただいた皆さんに感謝しておいしく味わってくださいね。



秋の俳句 秋を見つめ、秋を感じ、感性を磨く!



校舎前のキンモクセイが花をつけ、よい香りを漂わせています。桜やイチヨウの木々の葉も色づきはじめ、秋の深まりを学校周辺の様子からも感じることができます。天高く青空が広がる日は、校舎の周りを歩いて栗を袋いっぱいになるほど拾ったりしながら、爽やかな秋を楽しんでいます。10月19日(木)は、寺地さん、道端さんにご来校いただき、秋の俳句をつくりました。さまざまな秋があるけれど、自分の体験を俳句にするとよいことや、季語が決まったら、その季語で何を詠みたいのかを考えることが大切だと教えていただきました。形、色、におい、様子、景色、・・・等。児童は秋の季語に、自分の体験や経験をふりかえり、俳句を一生懸命考え、すてきな作品を詠みました。豊かな自然いっぱいのこの地域の中で、子どもたちが俳句を通して季節をしっかり見つめ、感じ、感性を磨くよい環境が三井小にあることを嬉しく思います。

